

生活文化特別授業 「バングラデシュってどんな国？」

9月18日（水）、特定非営利活動法人「国際エンゼル協会」より加藤圭二さん、檜垣保子さんにお越し頂き、バングラデシュの人々の生活文化に関する講演と民族衣装（サリー）の着付け実習をしていただきました。衣食住を中心としたバングラデシュの生活文化を鮮やかな写真とともにわかりやすく紹介して頂いただけではなく、15歳以上の成人識字率が61.5%のバングラデシュでは、「教育の普及」と「女性の自立」が重要であり、子ども達への奨学金や学校建設だけではなく農村女性への識字教室などの様々な支援をされていることなど、日本とは違う現実問題とその解決に向けての活動についても教えて頂きました。近年は日本の大手企業の工場等が増え、雇用も促進されているようで、生徒達の身近な企業名も出してくださっていました。後半のサリーの着付けでは、生徒達は美しいシルクのサリーを身にまとい、華やかで楽しい時間を過ごしていました。来週の授業ではバングラカレーの調理実習を行ないます。



6 mもの長さのある美しいサリーに歓声が上がりました。色とりどり、様々な模様にとれにしようか迷う生徒達。



実物の生活用品を用いたクイズ。
これは何に使うものでしょう？
中央の「ノクシカタ刺繍」が鮮やかです。（答：うちわ）